

COOPER FX

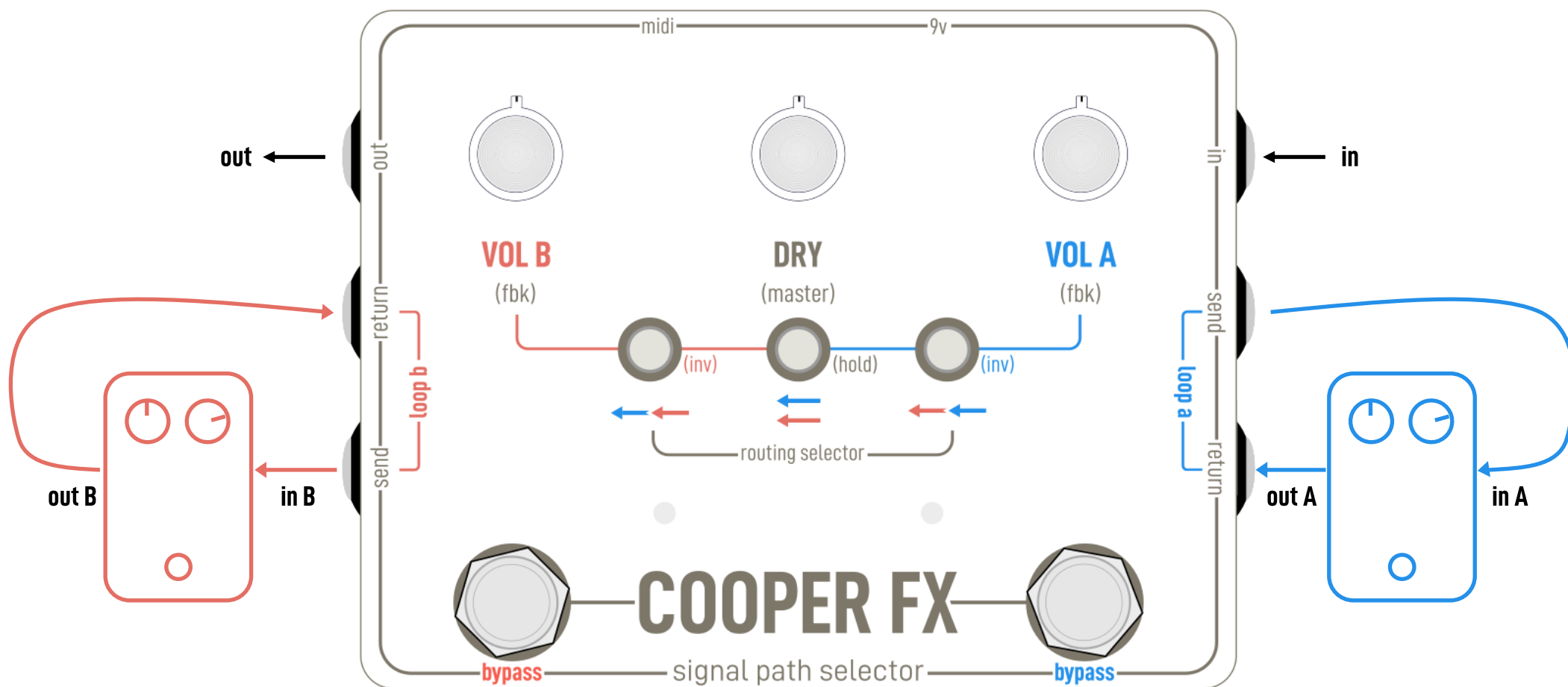


REQUIREMENTS:

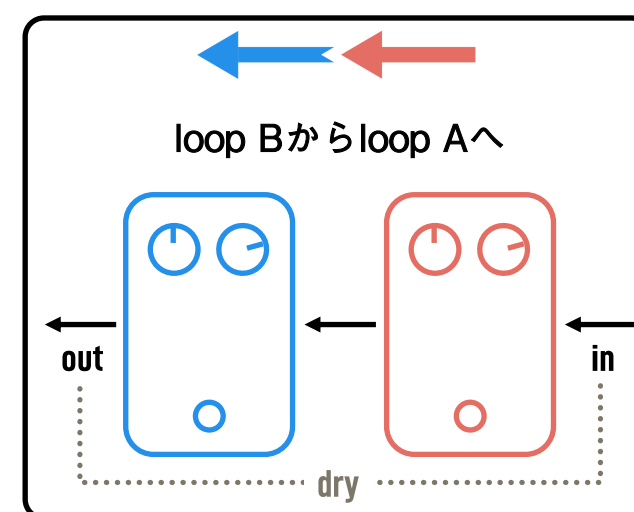
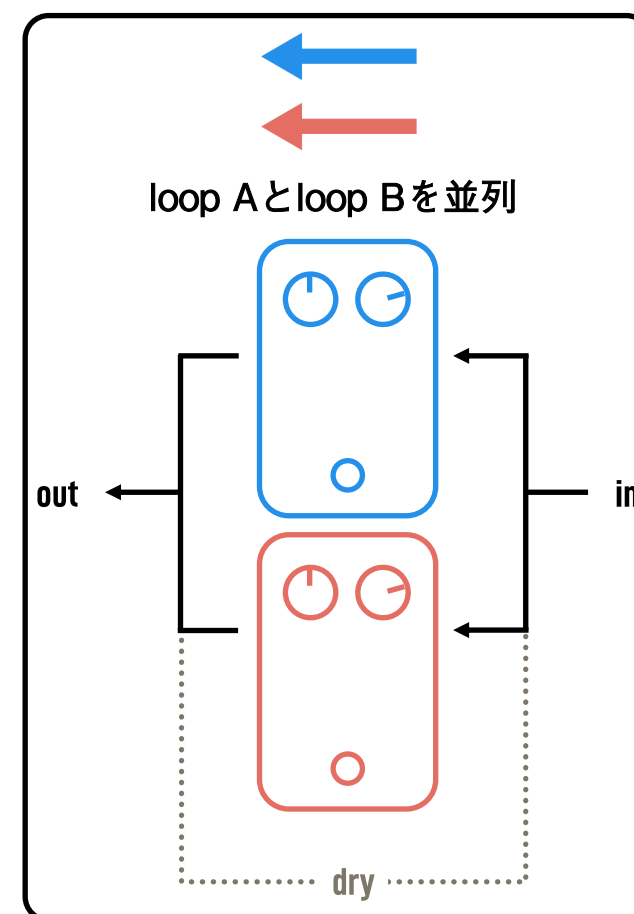
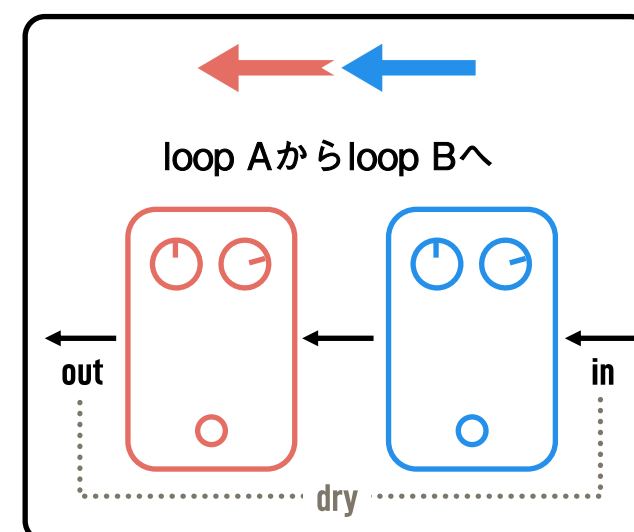
9Vセンターマイナス、135mA

tom@cooperfx.com @cooper.fx www.cooperfx.com

signal path selectorはボタンを押すだけでペダルチェーンを再構築できるツールです。ペダルの順番を入れ替え、並列のブレンド、3 to 1ミキサー、1 to 3スプリッター、デュアルフィードバックループ、フェーズインバーター、AB、ABY、どんなエフェクトにもドライミックスを追加することも可能です。全ての設定はプリセットができ、更にMIDIでの制御にフル対応しています。



ROUTING SELECTOR



CONTROLS

VOL A: loop Aのボリューム

(alt parameter) loop Aのフィードバック

DRY: ドライミックス量

(alt parameter) マスターボリューム

VOL B: loop Bのボリューム

(alt parameter) loop Bのフィードバック

PUSHBUTTONS

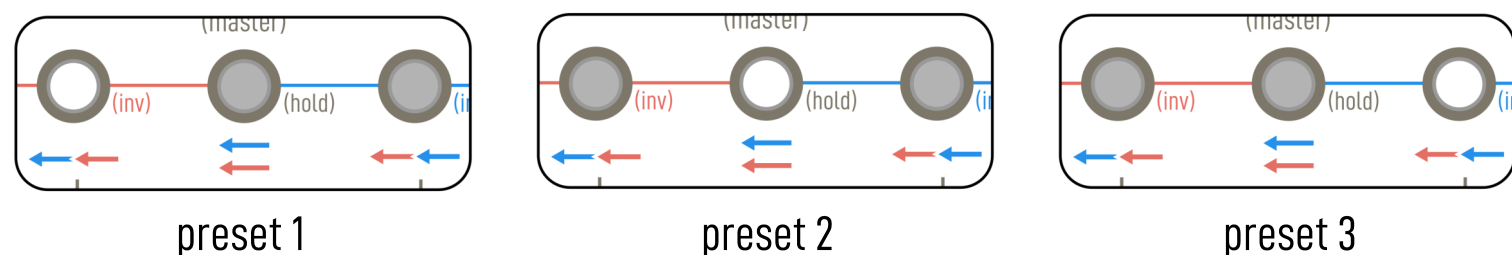
- 中央の3つのプッシュボタンでシグナルの経路を選択します。詳しくはROUTING SELECTORの項目を参照ください。
- (inv)と書かれたボタンを長押しすると、対応するループの位相を反転します。位相を反転するとボタンが点滅します。
- 中央の(hold)と書かれたボタンはaltパラメーターへのアクセスに使用します。押しながらノブを回すと () で示されたaltパラメーターを変更します。

FOOTSWITCHES

フットスイッチで対応するループのオンオフを切り替えます。フットスイッチはモーメンタリーでも使用できます。素早く踏むとラッチ式、長押しするとモーメンタリーとなり押ししている間ループが有効になります。

PRESETS

両方のフットスイッチをLEDが点滅するまで長押しすると、PRESETモードに入ります。中央のルーティングを決める3つのボタンで有効にするプリセットを選択できます。プリセットナンバーはLEDの点滅で表示されます。



プリセットを保存するには目的のプリセットナンバーを選択し、loop Aのフットスイッチを長押しします。プリセットロードするにはプリセットナンバーを選択し、loop Bのフットスイッチを長押しします。

MIDI CHANNEL SELECTION

signal path selectorはデフォルトではMIDIチャンネル1に設定されています。MIDIチャンネルを変更するには、まずloop Aのフットスイッチを押しながら電源を入れます。LEDが反時計回りにフラッシュします。この状態でMIDIメッセージ待機モードとなり、次に受け取るMIDIメッセージのMIDIチャンネルへ設定されます。現在のチャンネルと同じメッセージの場合はMIDIチャンネルは変更されず、引き続き待機モードとなります。

MIDI CCs

- 22 - Vol A
- 23 - Vol B
- 24 - Dry
- 25 - Master
- 26 - Feedback A
- 27 - Feedback B
- 28 - Loop A Phase
0-63 = off | 64-127 = on
- 29 - Loop B Phase
0-63 = off | 64-127 = on
- 30 - Routing
0-41 | 42-84 | 85-127
- 31 - Loop A Bypass
0-63 = off | 64-127 = on
- 32 - Loop B Bypass
0-63 = off | 64-127 = on

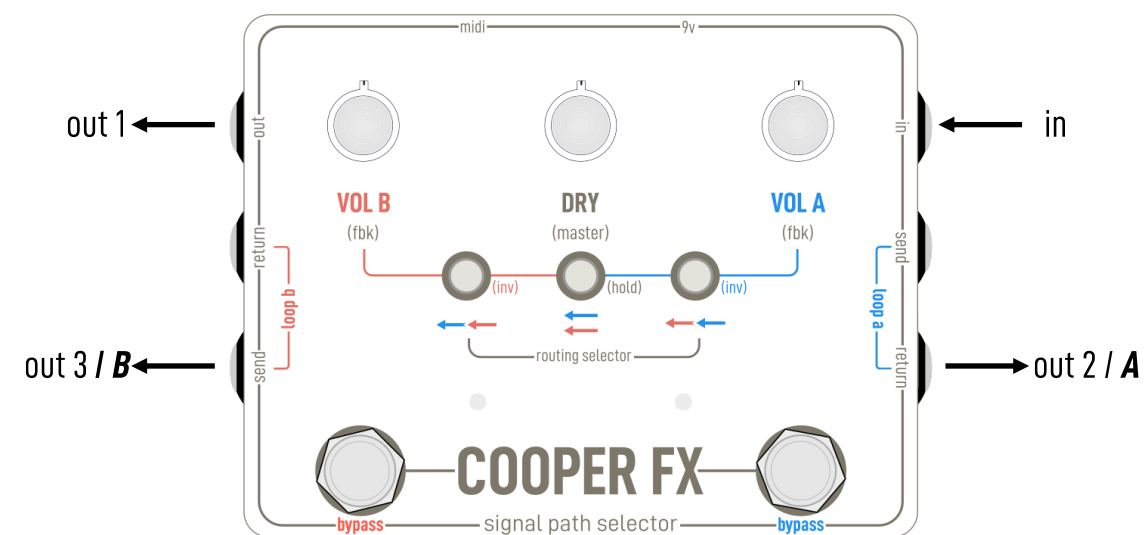
Warranty information:

This product is covered under warranty for 1 year from the date of original purchase. This warranty does not cover and is voided by : user misuse, accidental damage, and/or unauthorized modifications or repair.

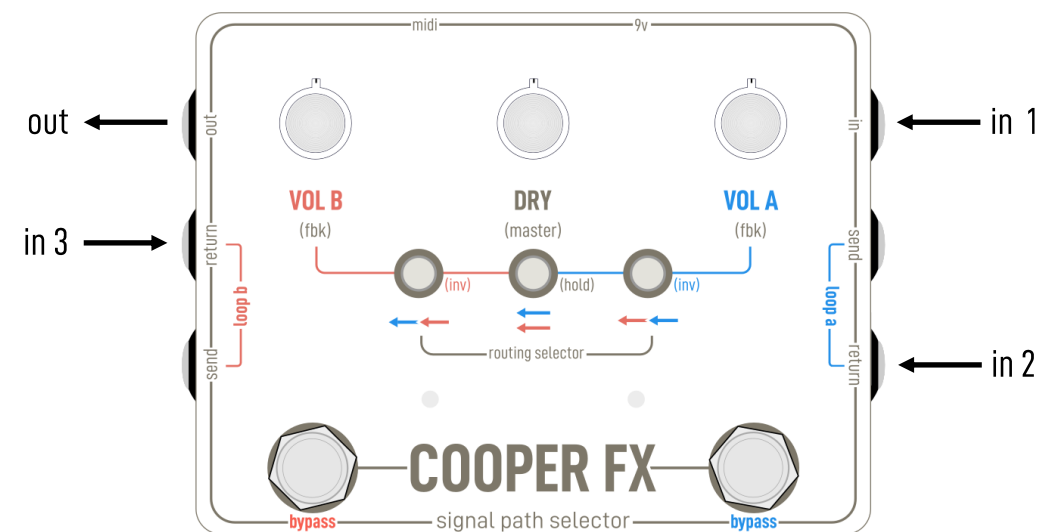
Repairs made within the warranty period are free. Please contact tom@cooperfx.com for all repair inquiries.

ALT CONFIGURATIONS

- 1 to 3 スプリッター、ユニティゲイン
- A/BまたはA+B (AB, ABY)



- 3 to 1 ミキサー
- 並列モードに設定し、ボリュームでサウンドソースのレベルを設定



PHASE INVERTING

特に並列でサウンドとシグナルをブレンドする場合、位相が問題となることがあります。位相を反転することで、位相にまつわる問題やフェイズキャンセルといった現象に対応できます。

例えばloop Aに位相が反転した出力を持つペダルがきた場合、ドライ音と打ち消し合ってしまうことがあります。その場合はloop Aの(inv)を有効にしてください。

concept, hardware and software design by Dan Hanson